



第68期

報告書

京写レポート

2025年4月1日から2026年3月31日まで

株式会社 **京写**

証券コード 6837



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第68期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）における事業の概況をご報告申し上げます。

2026年6月

代表取締役社長
児嶋 一登

業績の概要

当連結会計年度の当社が属するプリント配線板業界は、国内では自動車の生産低迷が続いており、家電製品などの生産は増加したものの、需要は依然として足踏みが見られました。

また、米国の関税政策による世界経済への影響、中国の景気減速、為替変動、中東情勢の緊迫化による原材料、エネルギー価格の急激な変動など、先行きは依然として不透明な状況にあります。

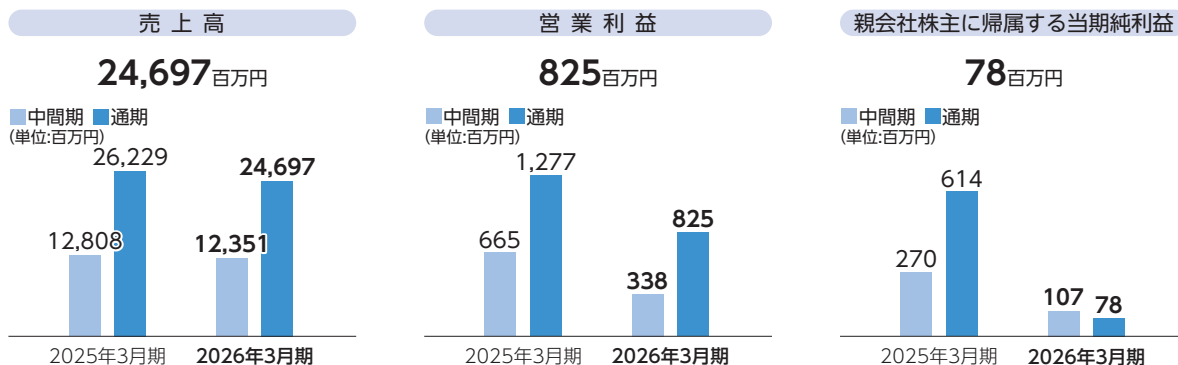
このような環境の中、当社グループの国内の状況は、プリント配線板事業では、LED照明等の家電製品や電子部品向け等の金属基板の受注増加、自動車関連分野の新規受注により、前年同期を上回りました。実装関連事業は、AIサーバー向けの受注は増加したものの、産業機器向けの受注減少により、前年同期を下回りました。これらの結果、国内の売上高はプリント配線板事業の増収により、前年同期を上回りました。

海外においては、LED照明、エアコン等の家電製品や自動車向け付加価値の高い金属基板の受注は増加したものの、自動車向け全体の受注が減少した結果、売上高は、前年同期を下回りました。これらの結果、連結売上高は24,697百万円（前年同期比5.8%減 1,532百万円の減収）となりました。

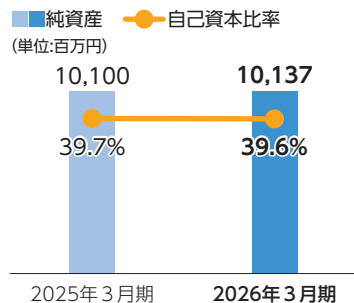
利益面は、国内で金属基板の新規量産立上げに伴う費用増加、原材料及び製造経費等の高騰に対し、継続して販売価格適正化やコスト改善等に取り組んだ結果、営業損失が縮小しました。

海外では減収の影響とインドネシアで生産拡大に向けた設備導入コストの増加等により減益となりました。

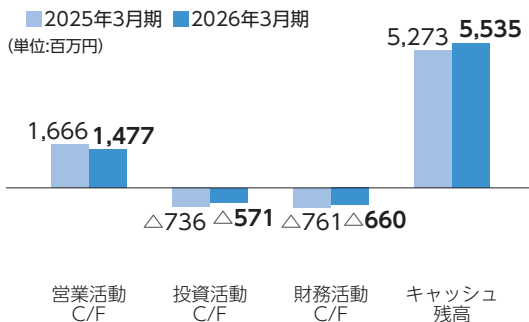
これらの結果、営業利益は825百万円（前年同期比35.4%減 451百万円の減益）、経常利益は547百万円（前年同期比44.9%減 445百万円の減益）、親会社株主に帰属する当期純利益は78百万円（前年同期比87.3%減 536百万円の減益）となりました。



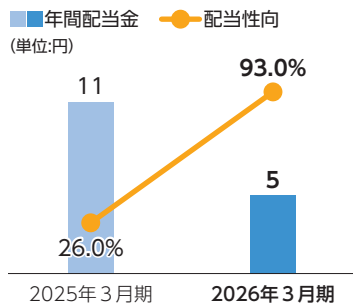
純資産・自己資本比率



キャッシュ・フロー計算書

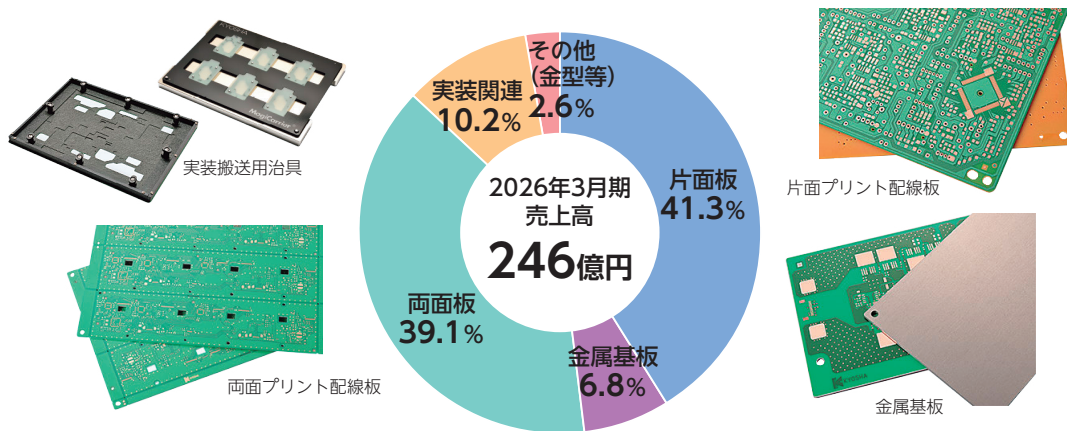


配当の状況



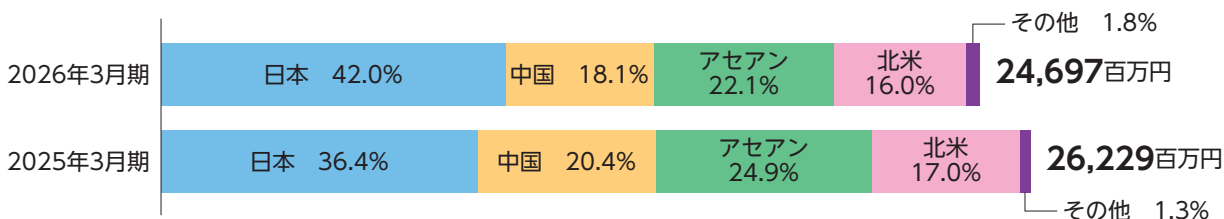
主要製品売上高構成

主要製品は片面板、両面板、実装関連の3種類、片面板の一種で高付加価値の金属基板が増加



販売地域別売上高構成

日本向け売上の増加 (海外比率64%→58%)

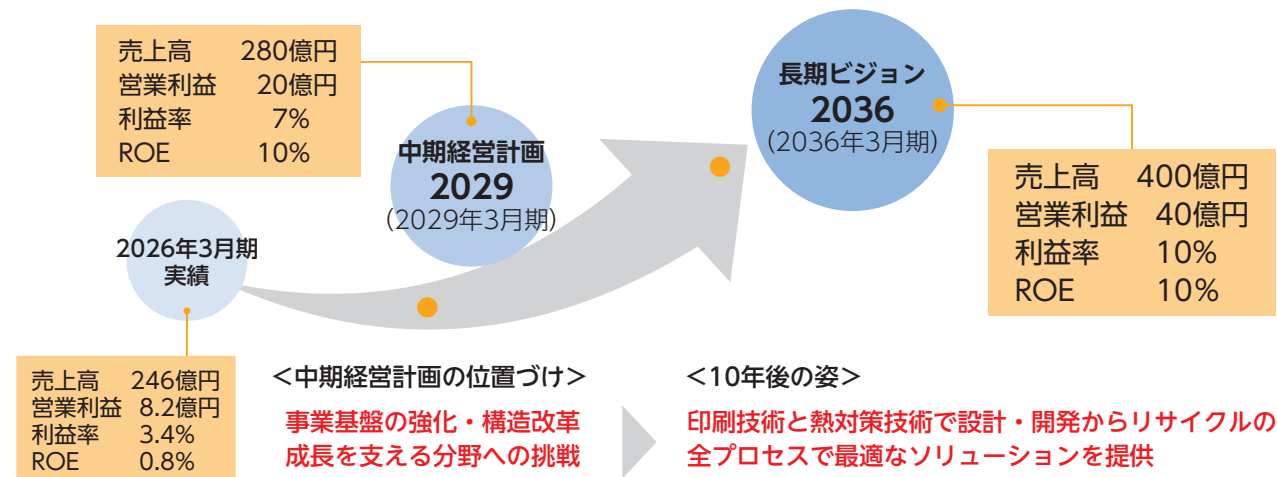


10年後に目指す姿として長期ビジョン2036の達成に向けて、3年間の中期経営計画2029を策定しました。

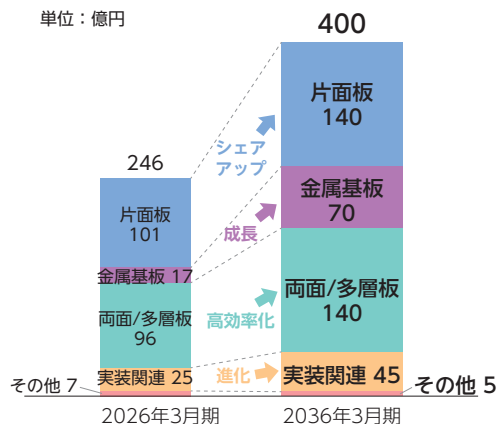
長期ビジョン 2036

印刷技術と熱対策技術を強みに お客様の製品開発から深く関わり
新しい価値を生み出す挑戦企業であり続ける

中長期経営目標



長期経営戦略（事業別販売ビジョン）



■ 片面板：
グローバル市場でのトップブランド
・インド市場の白物家電向け需要
取り込み
・アセアンOAや白物家電向け拡販

■ 両面・多層板：
高効率化、供給能力拡大
・ベトナム工場増設
・提携先から調達販売拡大、
ラインアップ強化

■ 金属基板：
成長市場での事業拡大・高収益化
・国内外生産ライン増設
・欧州顧客へ車載向けインバーター
やAIサーバー、電源等の電子電気
機器向け拡販

■ 実装関連：
新領域への展開
・半導体、医療向け新分野への拡販

2026年4月からスタートする3年間の中期経営計画2029は、大きく変化する事業環境への対応と前中期経営計画の振り返りを踏まえ、「事業基盤の強化・構造改革」、「将来の成長を支える分野への挑戦」、「持続的成長を支える体制強化」の3つを重点課題として、目標の達成を目指します。

中期経営ビジョン 2029

収益力強化 新規分野への挑戦で更なる成長に向けた事業基盤の確立

中期経営目標 2029年3月期

売上高	営業利益	営業利益率	ROE	配当性向
280億円	20億円	7%	10%	30%

中期基本戦略

	事業	戦略	事業別目標
基盤強化	既存事業	片面板 市場トップシェアによる利益最大化 ➡ 新市場の開拓、更なる生産技術の追求	売上 110億円 営業利益 10億円
		実装関連 特定市場・用途の開発によるブランド確立 ➡ パートナー連携、開発営業によるソリューションの提供	売上 30億円 営業利益 3億円
	構造改革	両面板 構造改革による収益基盤の再構築 ➡ 国内生産拠点の集約、ターゲット市場・用途の絞り込み	売上 95億円 営業利益 2億円
成長投資	新規事業	金属・厚銅基板 技術開発による成長事業の拡大 ➡ 生産技術力（印刷、加工）、材料メーカーとの連携	売上 40億円 営業利益 5億円
経営基盤の強化			

DX推進・ESG経営（環境対応・人材育成の強化・ガバナンス/コンプライアンスの強化）

2027年3月期 業績予想

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	配当金	配当性向
250億円	11億円	8億円	4.3億円	9円	30.5%

会社概要 (2026年3月31日現在)

- ・社名 株式会社京写
- ・本社 京都府久世郡久御山町森村東300番地
TEL:075-631-3191 FAX:075-631-7761
- ・設立 1959年2月14日
- ・資本金 1,102百万円
- ・従業員数 1,191名(連結)、262名(単体)
- ・事業内容 プリント配線板の製造及び販売、
実装搬送治具の製造及び販売
- ・上場市場 東京証券取引所スタンダード市場
(証券コード:6837)
- ・子会社
 - 国内 三和電子(岡山)
 - 海外 中国:京写香港、京写広州、京写広州貿易
東南アジア:京写インドネシア、京写ベトナム、
京写タイ、京写マレーシア
北米:京写ノースアメリカ、京写メキシコ

株式の状況 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数	58,000,000株
発行済株式の総数	14,624,000株
株主数	4,441名
大株主	

株主名	持株数	持株比率
株式会社児嶋コーポレーション	2,048,000	14.0%
児嶋雄二	943,800	6.5%
児嶋淳平	525,000	3.6%
株式会社エヌビーシー	524,000	3.6%
児嶋一登	476,000	3.3%
児嶋亨	466,000	3.2%
池田朋子	430,000	2.9%
株式会社日本カストディ銀行	392,600	2.7%
株式会社メイコー	273,600	1.9%
株式会社三菱UFJ銀行	260,000	1.8%

(注) 当社は、自己株式40,587株を保有しており、上記持株比率は自己株式を控除して計算しております。

役員 (2026年6月26日現在)

代表取締役社長	児嶋一登
取締役	児嶋淳平
取締役	平岡俊也
取締役	山口泰司
取締役(社外)	日比利雄
取締役(社外・独立)	森清隆
取締役 監査等委員	佐藤亮助
取締役 監査等委員(社外・独立)	高岡謙次
取締役 監査等委員(社外・独立)	松阿彌初美

IR情報メール配信のご案内

決算情報やプレスリリース、IRイベントなどの最新情報を電子メールでタイムリーにお届けします。ぜひご登録ください。

ご登録方法

●スマートフォンから

- ①2次元コードから登録画面へアクセス
- ②➡メール作成画面はこちらをクリック
- ③必要事項を入力しメールを送信



●パソコンから

- ①当社ホームページ <https://www.kyosha.co.jp/>
「お問い合わせ」フォームにアクセス
- ②「ご用件」の「IRに関するお問い合わせ」をクリック
- ③「お問い合わせ内容」に「メール配信サービス希望」を記入
- ④「お客様情報」を入力し送信

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	6月
剰余金の配当の基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)

公告の方法 電子公告とし、当社ホームページ (<https://www.kyosha.co.jp/>) に掲載いたします。但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。